

# 2015 年度 大問 1

hari64boli64 (hari64boli64@gmail.com)

2023 年 5 月 4 日

## 1 問題

$$\begin{aligned} & \text{maximize}_{\mathbf{u}, \mathbf{v}} && \mathbf{a}^T(\mathbf{u} - \mathbf{v}) \\ & \text{subject to} && \mathbf{1}^T \mathbf{u} + \mathbf{1}^T \mathbf{v} \leq 1 \\ & && \mathbf{u} \geq \mathbf{0}, \mathbf{v} \geq \mathbf{0} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \text{minimize}_{\mathbf{x}} && \mathbf{x}^T \mathbf{Q}^{-1} \mathbf{x} \\ & \text{subject to} && \|\mathbf{x}\|_{\infty} = 1 \end{aligned}$$

## 2 解答

(1)

(1-1)

自明

(1-2)

todo

(1-3)

自明

(2)

(2-1)

まず、 $\|\mathbf{x}\|_2 = 1$  という制約に変更した問題を解く。

$Q = P^T D P$  と分解する。ただし、 $P$  は直交行列で、 $D$  は対角行列であり、

$$D = \begin{pmatrix} d_1 & & \\ & \ddots & \\ & & d_n \end{pmatrix}$$

とする。

$Q^{-1} = P^T D^{-1} P$  である。なお、正定値性より、 $D^{-1}$  は定義可能である。

その上で、

$$\begin{aligned} \mathbf{x}^T Q^{-1} \mathbf{x} &= \mathbf{x}^T P^T D^{-1} P \mathbf{x} \\ &= (P \mathbf{x})^T D^{-1} (P \mathbf{x}) \\ &= \mathbf{y}^T D^{-1} \mathbf{y} \quad (\mathbf{y} = P \mathbf{x}, \|\mathbf{y}\|_2 = \mathbf{x}^T P^T P \mathbf{x} = 1) \\ &= \sum_{i=1}^n \frac{y_i^2}{d_i} \end{aligned}$$

となるので、この制約下における解は、 $Q$  の最大固有値を  $d_{\max}$  として、 $\frac{1}{d_{\max}}$  となる。

???

(2-2)

todo